現 場 説 明 書（技術的事項）

工事名称　　福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事

１．現場の状況

工事場所は自転車駐車場構内であり、本工事期間中も構内では通常どおり自転車駐車場の利用があります。ついては、自転車駐車場利用に支障のないよう、適切な工程管理を行ってください。

２．留意事項

①地元企業・地場製品の活用

受注者は、地元企業及び地場製品の活用に努めてください。

②建設リサイクル法の適用外

本工事は建設リサイクル法に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、建設副産物入力システム（COBRIS）による計画書及び実施報告書を提出してください。

③現場代理人及び監理（主任）技術者等の配置

現場代理人及び監理（主任）技術者は、契約約款及び建設業法等の関係法令に違反しないよう適切に配置し、本工事の施工管理を行ってください。

④工程管理

工程管理については、自転車駐車場管理者（以下、「施設管理者」という。）と十分に協議のうえ、自転車駐車場の利用に支障を及ぼさないよう適切に計画してください。

⑤安全確保

工事期間中は労働災害の防止に加え、自転車駐車場の利用者に対する公衆災害の防止に万全を期し、安全確保に必要な措置を適切に講じてください。

⑥既存工作物等の保護

工事により既存工作物等に損傷を与えないよう必要な対策を講じてください。万一損傷を与えた場合は、監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。

⑦物品の移動

工事の遂行に支障となる物品等がある場合は、必ず施設管理者と協議のうえ、当該物品の移動について依頼してください。

⑧騒音・振動・粉塵対策

工事中の重機等による騒音・振動及び粉塵等が発生する作業を行う際は、十分な対策を講じてください。

⑨施工計画書の提出

工事の着手に先立ち、関係者との調整を行い、十分検討のうえ工事計画をまとめた施工計画書を作成し提出してください。また必要に応じて工種別施工計画書を作成し、提出してください。

⑩当初工程表の提出

当初工程表は契約後 14 日以内に提出してください。なお、作業工程については、監督員及び施設管理者と十分に協議調整のうえ作成してください。

⑪官公署への手続き

工事の施工にあたり官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。

⑫別途工事との調整

構内で別途工事が行われる場合は、当該工事受注者と調整を行い、円滑な工事の遂行に努めてください。

３．関連工事

無し

福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事

図面リスト			
記　号	図　面　名　称	記　号	図　面　名　称
E-00	図面リスト		
E-01	電気設備特記仕様書		
E-02	付近見取図・配置図・器具姿図		
E-03	地下階平面図・地上階平面図（福山駅南有料自転車駐車場）		
E-04	地上階平面図（福山市駅西送迎専用駐車場）		
E-05	既設機器姿図		

工　事　名	福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事		福山市建設局建築部設備課						図面ＮＯ.
図面名称	図面リスト	２０２６年１０月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	E-00

福山市電気設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1　工事場所　　福山市三之丸町地内

2　敷地面積　　㎡

3　工事種目　　改修

（1）

（2）

（3）

（4）

（5）

4　工事範囲　（○印のついたものを適用する。）

電力設備工事		通信・情報設備工事	
1	構内配電線路工事	1	構内通信線路工事
2	動力設備工事	2	電話設備工事
⑥	電灯設備工事	3	情報表示設備工事
4	雷保護設備工事	4	拡声設備工事
		5	誘導支援設備工事
		6	インターホン設備工事
受変電設備工事		7	テレビ共聴設備工事
1	受変電設備工事	⑧	監視カメラ設備工事
		9	駐車場管制設備工事
電力貯蔵設備工事		10	自動火災報知設備工事
1	直流電源装置設備工事	11	防犯・入退室管理設備工事
2	交流無停電電源装置設備工事	中央監視制御設備工事	
		1	監視制御設備工事
発電設備工事			
1	発電設備工事（太陽光発電設備工事を除く）		
2	太陽光発電設備工事		

5　消防法に基づく防火対象物　　消防法施行令別表一　（　）項（　）

6　建築基準法施行規則に定める主要用途区分　　（　　）

※　契約締結後１４日以内に実施工程表を提出するものとする。

Ⅱ　工事仕様

1　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の電気設備技術基準、内線規程、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和７年版（以下「標準仕様書」という。）、同営繕部設備・環境課監修　公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和７年版、改修工事の場合は同営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和７年版による。

2　建築工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、建築工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、建築工事の特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図による。

3　特記仕様書の適用は次による。

（1）項目は、○印のついたものを適用する。

（2）特記事項は、○印のついたものを適用する。

○印の付かないものは、※印のついたものを適用する。

○印と※印のついた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（　．　．　）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

なお、標準仕様書において『特記による』と記載されている事項において、特記仕様に記載がない場合は、監督員との協議による。

Ⅲ　福山市電気設備工事仕様

本工事の工期は、建築工事・機械設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。

本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。

1　官公署の手続き

受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。

（官公署手続きは監督員の承諾後とする。）

2　施工中の安全確保

本工事は、交通誘導員として　●●人を見込んでいる。

交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督員に提出する。

3　監理（主任）技術者

現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

4　別契約の関連工事との調整等

・　施工範囲は「工事区分表」による。

・　別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。

・　別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。

5　施工管理

※　施工体制台帳の写しを提出する。

6　施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

7　保証書

納入した機器について保証書を提出する。

8　引渡し後点検

・引渡し後点検（第１次点検）　引渡しの概ね１年後

・引渡し後点検（第２次点検）　引渡しの概ね２年後

9　疑義に対する協議等

設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

章		項　目	特　記　事　項
一般共通事項	①	適用基準等	図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・公共住宅建設工事共通仕様書　国土交通省住宅局住宅総合整備課監修（令和四年版） ○建築基準法、消防法、その他関係法令 ○建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修 ○建築工事安全施工技術指針　　建設大臣官房官庁営繕部監修課長通達
	2	工事実績情報システム（CORINS）の登録	登録　○　する　　・　しない　　（１．１．４） 請負金額：500万円以上　工事受注時：契約後10日以内　登録内容の変更時：変更契約後10日以内　工事完成時：工事完成後10日以内 ※変更登録　工期、技術者等に変更が生じた場合に行う（請負代金の為変更の場合、登録不要）
	⑨	書面の書式及び取扱い	※期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日は含まない 情報共有システムの適用及び機能要件　　（１．１．５） 本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。 運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）」及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。 ・　発注者指定型 共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。 受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。 ・　受注者希望型（契約時の請負金額が５００万円以上のものに限る） 工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。 本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。 その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。

章		項　目	特　記　事　項
一般共通事項	④	関連法令等の遵守	工事の施工に当たり、関係法令等に基づき、円滑な進行を図る。　（１．１．１３）
	5	遠隔臨場の実施	遠隔臨場の適用及び実施内容 ・　適用する 実施内容（　・　現場説明書による　・　）　（１．１．１４）
	6	実施工程表	概成工期 ・　有り（　・　現場説明書による　・　）　・　無し　（１．２．１）
	⑦	工事の記録等	報告に用いる書式等　（１．２．４） ・　現場説明書による　・ ・　標準仕様書１．２．４（４）により整備する工事写真については次による 「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編 令和５年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

分　類	規　格	撮影枚数	提出部数
施工前	L版程度（カラー）	必要に応じた数	1
施工中	L版程度（カラー）	必要に応じた数	1
施工後	L版程度（カラー）	必要に応じた数	1
完　成	L版程度（カラー）	各　室　4　面	1

※完成写真は、写真帳（Ａ４版）を検査後すみやかに提出する。

・原版の提出　　・する（　・完成時のみ　・全て　）　・しない

8	電気保安技術者	配置 ・　する　　・　しない	（１．３．２）
⑨	施工条件	標準仕様書１．３．３（１）以外の施工条件 ○　現場説明書による　・ ・　作業時間は、原則午前８時から午後５時までとし、通学時間帯を考慮する。 ・　日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。	（１．３．３）
⑩	発生材の処理等	処理等 ・　発注者に引渡しを要するもの ・　現場説明書による　・ ・　特別管理型産業廃棄物の種類及び処理方法 ・　現場説明書による　・ ・　工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ・　現場説明書による　・ ※　建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）　（財）日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。	（１．３．９）

	工事着手前	工事完了時
搬　入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬　出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

※　本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理税が課税される。

なお、本工事では広島県産業廃棄物処理税相当額を含んでいる。

⑪	機器材料等	機器材料の製造所、製品及び施工業者等は、特記されたもの又は同等以上とする。（１．４．２） ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。 また、（社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。（電気標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。） 工事に使用する機器及び材料は、アスベストを含有しないものとする。	
12	総合試運転調整	・　行う（適用箇所：　・　現場説明書による　・　監督員の指示による）　（１．５．５）	
13	技術検査	中間技術検査　　（１．６．２）	
⑭	完成時の提出図書	提出図書　　（１．７．１） ※　標準仕様書１．７．２及び１．７．３による　※　工事関係図書　※　監督員が指示したもの	
⑮	完成図	種類、記入内容等　　（１．７．２） ※　標準仕様書　１．７．２による 提出部数（　１　）部 提出仕様（　○　紙ベース　○　電子データ　・　　） ※　竣工図 速やかに次の図書を提出する （　◎　完成図　・　承諾図　○　施工図　） ○Ａ３判を２つ折りにして製本　（　３　）部 ◎電子データ提出（施工図含む）　一式（福山市竣工図電子データ作成要領による。） ○ＣＡＤデータ（媒体（ＣＤ－Ｒ等）、データ形式等は監督員の指示による。）	
⑯	保全に関する資料	作成等　　（１．７．３） 提出部数（　１　）部 提出仕様（　・　紙ベース　・　電子データ　・　　）	
⑰	電線類	特記以外はＥＭ電線・ケーブルを使用する。ケーブルラック・ボール等へ電線類を結束する場合は、綿紐・ビニール被覆バインド線などを使用する。	
18	導入線	長さ1m以上の通線を行わない配管には、1.2mm以上の導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。	
19	ねじなし電線管の使用	薄鋼電線管を使用することになっている部分は、同一外径のねじなし電線管を使用してもよい。（ただし、屋外配管布設時はねじなし電線管を使用しない。） 溶融亜鉛めっき電線管の接続は防水ねじなしカップリングとする。	
20	屋上スラブ配管その他	屋上スラブ内配管は、行わない。（天井のない部分は別途協議する。） スラブ厚の1/4を超える外径の配管（31を超えるもの）は、打込みをさけ、 壁まわりの配管相互は、30mm以上離し整然と配管する。	
21	合成樹脂可とう電線管	特記なき場合は、ＰＦＳ（ＰＦＩ重）とする。	
22	防火区画の貫通処理及び予備配管施工	・防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。 ・天井内の区画壁には、貫通する予備配管（3I）を２本設置する。	
23	プレートの材質	・ステンレス製　　・樹脂製　・新金属　　・その他（　　）	
24	カバープレートの表示	動力　㊊　電灯　㊎　電話　㊐　電気時計　㊗　インターホン　㊍ 放送　㊓　テレビ共聴　㊋　防犯　㊒　自火報　㊌　ＯＡ　㊓Ａ 印のシールを貼る。	
25	ハンドホール	構造は完全防水型とし、蓋にゴムパッキンをはめ、４ヶ所をステンレスボルトで締付ける構造とする。ハンドホール内の行先表示板はアクリルプレート掘り込み文字とする。 蓋の記号表記（・鋳型流込み　・電力　・電気　・電話　・弱電） 既設ハンドホールの作業時は清掃、水抜きを行う。	
26	鋼管柱・外灯ポール	発錆防止のため、コンクリート根巻きを行う。	
27	埋設標示等	接地標示板（・黄銅板製　・ステンレス板製） 標示柱（・鋳鉄ダクタイル打込柱　・コンクリート柱　・キャッツアイ） 標識シート（Ｗシート150mm）（・高圧6600Ｖ　・低圧　・その他）	
28	埋設深さ	特記なき場合は、ＧＬ－600以上、舗装のある場合は路盤下－600以上とする。	
29	接地工事	Ａ種接地、Ｂ種接地、Ｃ種接地工事の接地極は、特記なき場合銅板とする。	
⑳	地中配線	地中配線はハンドホール内で余長を取り（1m程度）回路表示をする。	
31	結露防止	外気に面する壁、スラブ等で打込みとなる位置ボックスは、保温、結露防止処理を行う。	
32	耐震施工	設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」（平成２５年版・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針」（２０１４年版一般財団法人日本建築センター発行）による。 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法による １）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽類にあっては有効質量）に、 地域係数（・１．０　・０．９　・０．８）と、 次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 建物の種別（・特定の施設　・一般の施設） 重要機器（・配電盤　・発電設備　・交換機　・直流電源装置 ・ＵＰＳ装置　・火災報知受信機　・中央監視装置　・　　）	

章		項　目	特　記　事　項
一般共通事項	㉒	分電盤・配電盤	設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階屋上及び塔屋	機　器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振設置機器	2．0	2．0	2．0	1．5
中間階	機　器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振設置機器	1．5	1．5	1．5	1．0
地階・１階	機　器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振設置機器	1．0	1．0	1．0	0．6

上層階とは地階を除く２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３、１３階建以上の場合は上層４階とする。

中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。

２）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とする。

	34	塗　装	分電盤各回路の名称記入は刻印又はタイプ打ちとし、図面ホルダーを取付、回路図面を挿入する。配線用遮断器の遮断容量は、次の値以上とする。 主遮断器の遮断容量は5kA以上とし、分岐用遮断器は、主遮断器フレーム容量が50AF以下の場合 2.5kA以上とし、50AFを超える場合は5kA以上とする。ただし、改修工事等の場合は特記による。チャンネルベースに用いる鋼板厚は3.2mm以上とし、亜鉛めっき処理とする。 色彩の決定については監督員の指示による。

位置ボックス類	内面	調合ペイント　絶縁ワニス	1回塗り
	露出	調合ペイント	2回塗り以上
配　管　類	露出	調合ペイント	2回塗り以上
支　持　金　具	露出	さび止め・調合ペイント	各2回塗り以上

・露出配管の塗装する部分（・居室廊下等　○屋外　・ＥＰＳ内　・　　）

なお取付、塗装後は、傷のつかないように十分養生する。

屋外部分の支持金物はステンレス製、又は溶融亜鉛めっき処理とし必要に応じ塗装する。

色彩の決定については監督員の指示による。

（原則として屋内取付はマンセル値2.5Y9/1、屋外取付は建物に合わせる。）

	⑮	施工調査	事前調査　調査項目（本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。）
	36	そ　の　他	・工事着手に先立ち、設計図面（Ａ３版縮小）製本を提出する。　（１）部

仮設工事	①		工事現場仮囲い	・ナイロンロープ張り　・木製仮囲い　・鋼板仮囲い　○その他（三角コーン表示）
	2		受注者事務所等	・敷地内へ建てることができる。　・できない
	④		工事用水	構内既存の施設　・有償で利用できる　・無償で利用できる　○利用できない
	④		工事用電力	構内既存の施設　・有償で利用できる　・無償で利用できる　○利用できない
	5		引渡しまでの光熱費	・本引込みより引渡しまでの基本料金　・受注者負担　・別途 ・本引込みより引渡しまでの使用料金　・受注者負担　・別途
電力設備工事	1		構内配電線路	1　電気方式　・三相3線式　・6.6kV　・400V　・200V ・単相3線式　100/200V ・単相2線式　・100V　・200V 2　施工方法　・地中配線（・ＦＥＰ　・Ｈ－ＩＶ－Ｅ　・その他　） ・架空配線　電柱（　・遠心力鉄筋コンクリート柱　・鋼管柱　・　） 支線（　・要　・不要　）　支柱（　・要　・不要） 3　その他　・構内柱に所有者名を表示する。
	2		幹線動力設備	⑤　1　電気方式　○単相2線式100V　・単相2線式200V　・直流2線式100V　・単相3線式100/200V 2　機器への接続等　・電動機等への接続　・本工事　・別途工事 ・動力コンセント設置の場合はプラグ付とする。 ・ＰＳ内及び主要個所へは、幹線名称を表示する。
	3		電灯コンセント設備	⑤　1　電気方式　○単相2線式100V　・単相2線式200V　・直流2線式100V　・単相3線式100/200V 2　機器・器具類　４連以上のスイッチは、ネーム付きとする。 換気扇及び天井扇は、パイロットランプ、ネーム付きとする。 ハイテンションアウトレットは次による。（・外部固定　・上下動型　・　） 平行型以外のコンセントはプラグ付きとする。 コンセントのプレートは回路番号を表示する。
	4		照明器具供給取付	1　照明器具　特記なき場合は、LED照明器具とする。 湿気のある場所に設置する器具は全て接地する。 上記以外は特記による。 2　非常照明　光源はLED光源とし、「非常用照明器具技術基準（JIL5501）」による。 ・電池内蔵型　・電源別置型 3　誘導灯　「誘導灯器具及び非常誘導システム用装置技術基準（JIL5502）」による。 4　照度測定　・非常照明　（　・測定（　）個所　・設置した各部屋　２ヶ所以上　） ・一般照明　監督員と協議による。 5　予備品等　予備品は製造者の標準品一式とする。
	5		雷保護設備	1　工事範囲　・配管　・配線　・受雷部取付　・接地極埋設 2　受雷部　・突針　・棟上げ導体　・金属製手すり（別途）等 3　避雷導体　・建築構造体利用　・引下げ導体 4　接地極　・建築構造体利用 （建築基礎完了時等、構造体の接地抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。） ・接地極埋設　試験用接続端子箱取付 5　仕様詳細　・別図雷害設備仕様（　／　図）による。 6　適用規格　・JIS Z 9290-3:2019
受変電設備工事	1		受変電設備	1　電気方式　一次電圧　三相3線式　6.6kV 二次電圧　・三相3線式400V　・三相3線式200V　・単相3線式100/200V 受電設備容量　・動力（　　）kVA　・電灯（　　）kVA 2　配電盤構造　・キュービクル式配電盤（　・屋外ＳＵＳ屋根　・屋内型　）　・開放型配電盤 3　主遮断装置　・ＰＦ－Ｓ　・ＣＢ　・（　　） 4　機器類　変圧器（自冷式、最大値残針付温度計）　・油入　・モールド 進相コンデンサ（保護接点、放電装置付）　・油入　・モールド　・ガス絶縁式 リアクトル（警報接点付）　・油入　・モールド　容量（　　）% 5　計器類　・機械式（広角度目盛）　・電子式（最大需要電流計は電気式のみ） ・最大値残針付　・警報接点付 6　デマンド監視装置　・本工事　・別途工事　・なし 7　盤内取付装置　・換気扇（ガーモ付）　・照明（　・扉連動スイッチ　・手動　）　・（　　） ※キュービクル内部温度が４０℃以内となるよう換気計算を行う。（周囲温度t_o：34.1℃） 参考：日本配電制御システム工業会規格 8　仕様詳細　・別図受変電設備仕様（　／　図）による。 9　予備品　・電気標準仕様書によるほか電力ヒューズ現用定格値のものを現用数とする。
電力貯蔵設備工事	1		直流電源装置	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器取付 2　用途　・非常照明器具用電源　・受変電設備制御用電源　・監視盤用電源 3　蓄電池　・ＨＳ型鉛蓄電池（　）Ah　・ＭＳＥ型鉛蓄電池（　）Ah ・リチウムニ次電池（　）Ah　・＿＿＿蓄電池（　）Ah 4　仕様詳細　・別図直流電源設備仕様（　／　図）による。 5　予備品　予備品は製造者の標準品一式とする。
	2		交流無停電電源装置	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器取付 2　ＵＰＳ　・常時インバータ給電方式　・ラインインタラクティブ方式　・常時商用給電方式 ・簡易形 3　用途　・（　　） 4　出力電気方式　・単相2線式　・単相3線式　・三相3線式 5　出力電圧　・100Ｖ　・100/200Ｖ　・200Ｖ 6　定格出力　（　　）kVA　（　　分補償） 7　蓄電池　・ＭＳ型鉛蓄電池（　）Ah　・ＭＳＥ型鉛蓄電池（　）Ah　・　蓄電池（　）Ah 8　予備品　予備品は製造者の標準品一式とする。

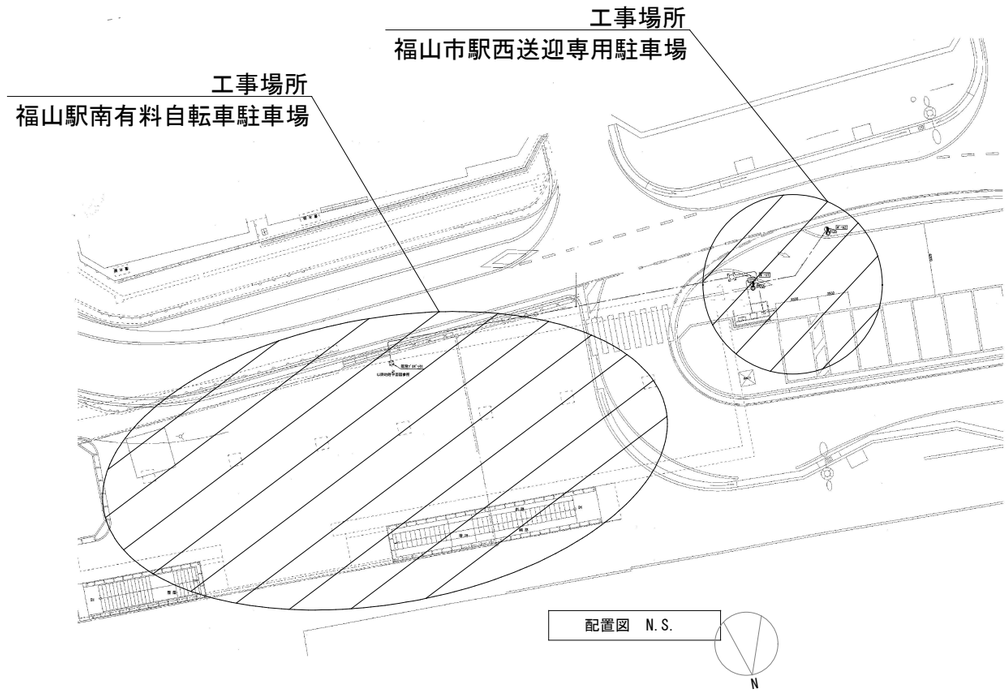
発電設備工事	1		発電設備（太陽光発電設備を除く）	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器取付 2　発電方式　・ディーゼル　・ガスエンジン　・ガスタービン　・マイクロガスタービン ・燃料電池　・コージェネレーション　・風力　・（　　） 3　出力電気方式　・単相2線式　・単相3線式　・三相3線式 4　出力電圧　・6.6kV　・105V　・210V 5　機器能力　・発電能力（　　）kVA以上　・排熱回収（　　）kcal以上 6　原動機出力　（　　）kW以上 7　始動方式　・電気始動方式　・空気始動方式 8　構造　・キュービクル形（　・屋外型ＳＵＳ屋根　・屋内型　）　・オープン形 9　防油堤　・本工事（　・コンクリート製　・鋼板製　）　・別途工事 10　燃料　・Ａ重油　・軽油　・灯油　・都市ガス　・液化石油ガス 11　仕様詳細　・別図発電設備仕様（　／　図）による。 12　予備品　予備品は製造者の標準品一式とする。
	2		太陽光発電設備	建築基準法に基づき風圧荷重計算等の算定には次の条件を用いる。 設計用基準風速　V_o：32m/s その他の係数は　風圧用途係数Ⅰ：1.16（通常1.0極めて重要な太陽光発電1.32） 地表面粗度区分：Ⅰ（極めて平坦で障害物がない場合の数値） 地上基準積雪量Z_s：0.3m（福山地区） 地震地域係数Z：1.0（1.0～0.7） 地震用途係数Ⅰ：1.25（通常1.0極めて重要な太陽光発電1.5） 仕様詳細は別図発電設備仕様（　／　図）による。
通信・情報設備工事	1		構内通信線路	1　地中配線　・ＦＥＰ　・ＨＩＶＥ　・その他（　　） 2　架空配線　電柱（　・遠心力鉄筋コンクリート柱　・鋼管柱　・　　） 支線（　・要　・不要　）
	2		電話設備	1　工事範囲　・配管　・配線　（　・端子盤間ケーブル　・電話機用ケーブル　） ・機器取付（　・端子盤　・交換機　・電話機　） ・ノズルプレート　・モジュラー（　・2Ｐ　・4Ｐ　・　Ｐ　） 2　アウトレット　・別図電話設備仕様（　／　図）による。 3　機器仕様詳細
	3		情報表示設備	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器等取付 2　電気時計　親時計（　・水晶式（時刻規正機構付）　・　　） ・壁掛型（　）回線　・キャビネット収容型（　）回線　・（　　）（　）回線 子時計 ・壁掛式　・壁埋込式 3　表示装置　表示盤 ・発光ダイオード式　・マグネットユニット式　・プラズマ式　・液晶式 4　仕様詳細　・別図情報表示設備仕様（　／　図）による。 5　予備品　予備品は製造者の標準品一式とする。
	4		拡声設備	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器等取付 2　増幅器　・非常放送　局　Ｗ（　・専用　・業務用兼用　）　・一般放送　局　Ｗ ・卓上型　・壁掛型　・ラック収容型　・デスク型（　・片袖型　・両袖型　） ・壁掛型　Ｗ　・天井型　Ｗ　・屋外ホーン型　Ｗ　・　Ｗ 3　スピーカ　・別図拡声設備仕様（　／　図）による。 4　機器仕様詳細
	5		支援誘導設備	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器等取付 2　誘導支援装置　・音声誘導　・身障者用インターホン　・トイレ呼出装置 3　仕様詳細　・別図誘導支援設備仕様（　／　図）による。
	6		インターホン設備	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器等取付 2　電源　・ＡＣ100Ｖ　・乾電池 3　型式　・親子式　・相互式　・住戸用自火報式 ・テレビ（　・有　・無　） 4　通話方式　・同時通話式　・交互通話式 5　機器仕様詳細　・別図インターホン設備仕様（　／　図）による。
	7		テレビ共聴設備	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器等取付 2　機器類　・一般用　・共聴用　・ＢＬ優良住宅部品　・ＮＨＫ仕様適合品 3　受信波　・ＵＨＦ　・ＢＳ　・ＣＳ　・ＣＡＴＶ 4　増幅器　・Ｕ（　dB）　・ＢＳ（　dB） 5　電界強度測定　・要（・受信レベル　・ＢＥＲ　・ＭＥＲ）　・不要 6　機器仕様詳細　・別図テレビ共聴設備仕様（　／　図）による。 7　その他　分岐器、分配器、直列ユニット等はＵ・ＢＳ共用型とし、直列ユニットには75Ωのプラグを附属する。 ・4K、8K対応機器（周波数帯域3.224MHzに対応した機器）を使用する。 （増幅器、分配器、テレビ端子等）
	⑧		監視カメラ設備	1　工事範囲　○配管　○配線　○機器等取付 2　仕様詳細　○別図監視カメラ設備仕様（Ｅ／02図）による。 3　予備品　予備品は製造者の標準品一式とする。
	9		駐車場管制設備	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器等取付 2　検知器　・光電式　・ループコイル式 3　仕様詳細　・別図駐車場管制装置仕様（　／　図）による。 4　予備品　予備品は製造者の標準品一式とする。
	10		自動火災報知設備	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器等取付　・音声合成登録 2　火災報知設備　・単独型　・複合型　・自立型　・壁掛式 受信機　火災報知設備受信機（　）型（　）級（　）回線　・副受信機（　）回線 機能（　・蓄積式　・住戸型　） 連動設備　連動（　・非常放送　・消火栓　・誘導灯　・電気錠　・光警報　・　） 送受話器（　）台 警報区域一覧図（　・アクリルエッチング　・カラーコピー　・　） 表示窓或区域銘板は白地黒文字エッチングとする。（Ｒ型は除く） 3　連動操作装置　連動制御器（　）回線（予備含む）回線（　　）） 制御内容（　・防火扉用　・防火ダンパ用　・防火シャッター用　・防煙垂れ壁用　） 4　非常警報装置　・一体型　・複合装置型 5　その他消防設備　・非常通報設備　・漏電火災警報設備　・ 6　ガス漏れ警報装置　・受信機（　）回線（・ＬＰガス用　・都市ガス用　） 7　ＬＰガス漏れ遮断設備　・遮断弁制御器（　）台
	11		防犯・入退室管理設備	1　仕様詳細　・別図防犯設備仕様（　／　図）による。 ・別図入退室管理設備仕様（　／　図）による。 2　工事範囲　・配管　・配線　・機器等取付
中央監視制御設備工事	1		監視制御設備	1　工事範囲　・配管　・配線　・機器等取付 2　監視方式　・警報盤　・監視制御装置 3　監視制御方式　・監視操作装置（　・グラフィックパネル　・液晶ディスプレイ（汎用ＰＣ）　） ・信号処理装置（　　） ・記録装置（　　） 4　交流無停電電源装置　・製造者の標準とする。 5　仕様詳細　・別図中央監視制御設備仕様（　／　図）による。 6　予備品　予備品は製造者の標準品一式とする。

福山市電気設備工事特記仕様書		
2026年10月	福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事	E-01
福山市建設局建築部設備課		

工事内容
・屋内監視カメラ（バレット型）９台　取替（地下階）
・屋外監視カメラ（バレット型）２台　取替（地上階）
・屋外監視カメラ（バレット型）２台　取替（西送迎駐車場）
・カメラ電源ユニット　４台　撤去（監視モニター架）
　２台　新設（監視モニター架）
・レコーダー　２台　取替（監視モニター架）
・１７型液晶モニター　２台　取替（監視モニター架）
・上記に伴う配線工事
　5C-FB、PF管、FEP管は既設流用する。

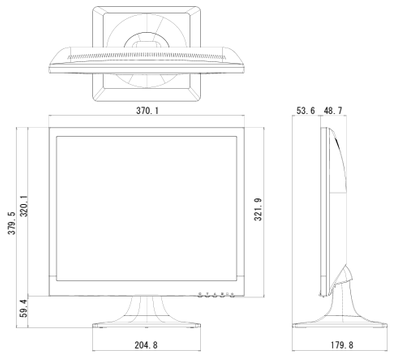


付近見取図　1:2500



配置図　N.S.

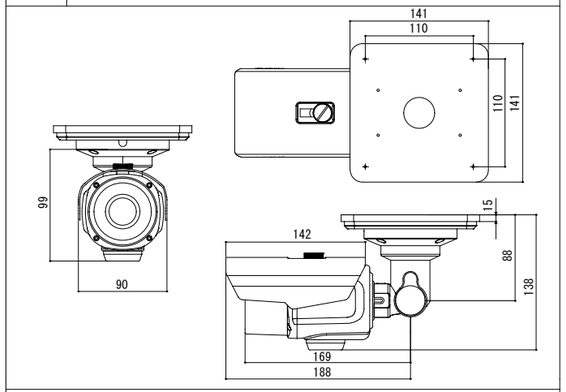
17型液晶ディスプレイ　２台



液晶パネル：17型、TFT
解像度：1280×1024
最大解像度：1670万色
視野角：水平：170°　垂直：160°

・防犯カメラ姿図（参考図）

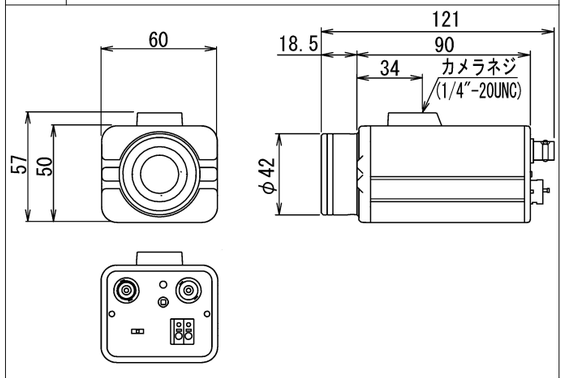
WP　屋外防犯カメラ（バレット型）４台



電源電圧：専用重点型カメラ電源、または DC12V（10～15V）無極性
解像度：5M(2592×1944)/4M/2M選択可能
レンズ：2.7mm-12mm（電動ズーム・オートフォーカス対応）
撮像素子：　1/2.8型 CMOSセンサー
使用可能温度範囲：-10℃～+50℃
伝送方式：　AHD3.0 / AHD2.0 / アナログ(CVBS) 切替出力対応
最低被写体照度：　カラー：0.03lx、白黒：0.001lx
防塵・防水性：IP66準拠　　取付金物含む

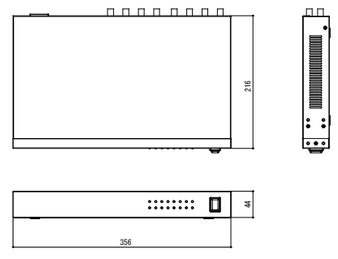
・防犯カメラ姿図（参考図）

屋内防犯カメラ（バレット型）９台



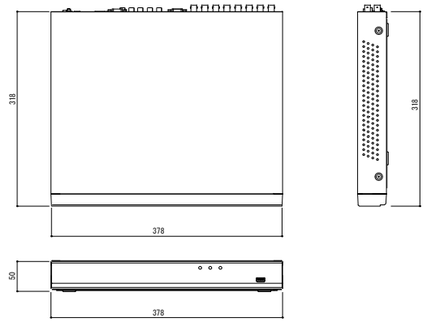
電源電圧：専用重点型カメラ電源、または DC12V（10～15V）無極性
解像度：　最大2592×1944（5M: 1944p）※4M/2M切替も可能
レンズ：2.7mm-12mm（電動ズーム・オートフォーカス対応）
撮像素子：　1/2.8型 CMOSセンサー
使用可能温度範囲：-10℃～+50℃
伝送方式：　AHD3.0 / AHD2.0 / アナログ(CVBS) 切替出力対応
最低被写体照度：　カラー：0.03lx、白黒：0.001lx
取付金物含む

カメラ電源ユニット　２台



映像信号入力：AHD/CVBS、8入力
映像信号出力：AHD/CVBS、8出力
カメラ駆動伝送距離：3C-2V:最大250m　5C-2V/5C-FB：最大450m
通信機能：同軸重畳制御方式

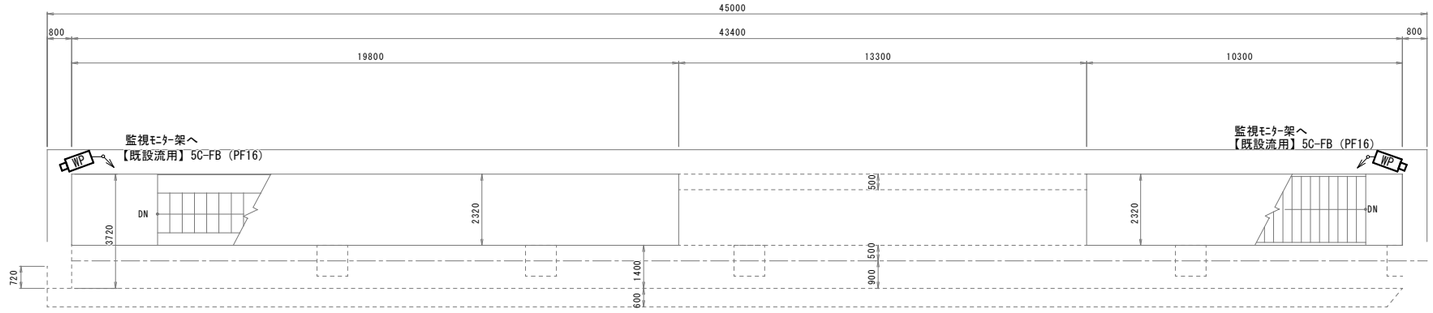
レコーダー　２台



電源電圧：AC100V、50/60Hz
容量：4TB
圧縮方式：H.265、H264
同軸重畳制御：あり
映像入出力：　入力：8回路　出力：2回路
音声入出力：　入力：8回路　出力：1回路
アラーム入力：8回路

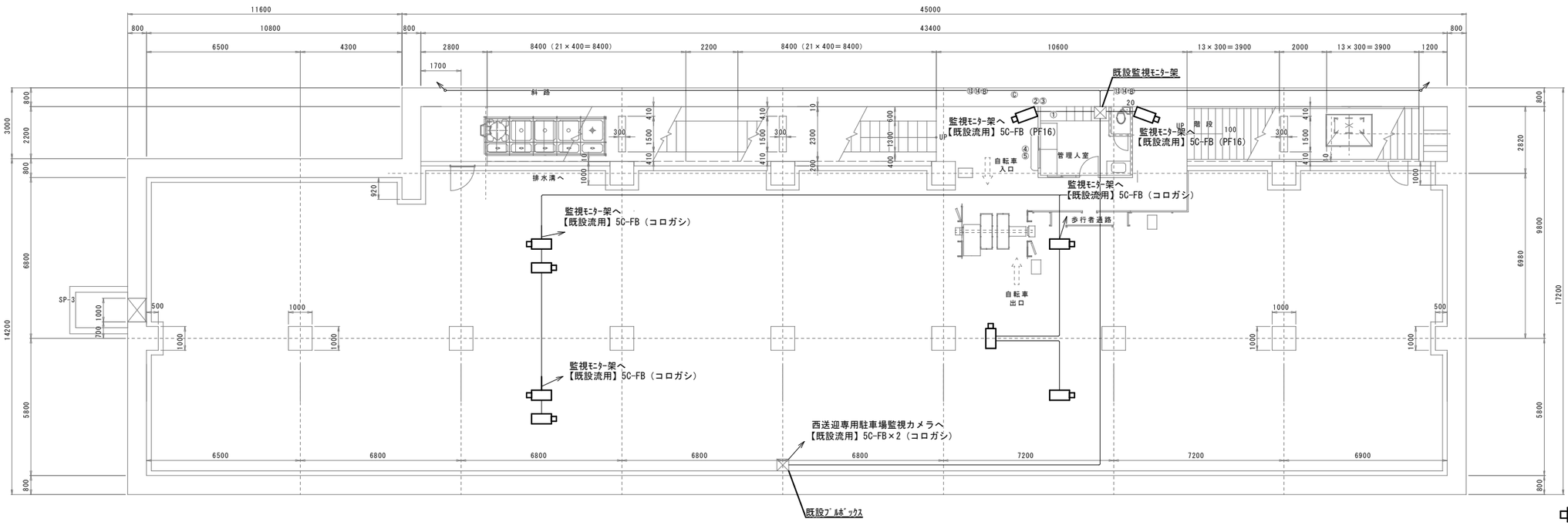
縮尺率	A-1：100%
	A-2：71%
	A-3：50%

工事名	福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事		福山市建設局建築部設備課						図面NO.
図面名称	付近見取図・配置図、防犯カメラ姿図　付近見取図　縮尺1:2500 配置図　縮尺N.S.	２０２６年１０月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	E-02



地 上 階 平 面 図 S=1:100

（福山駅南有料自転車駐車場）



地 下 階 平 面 図 S=1:100

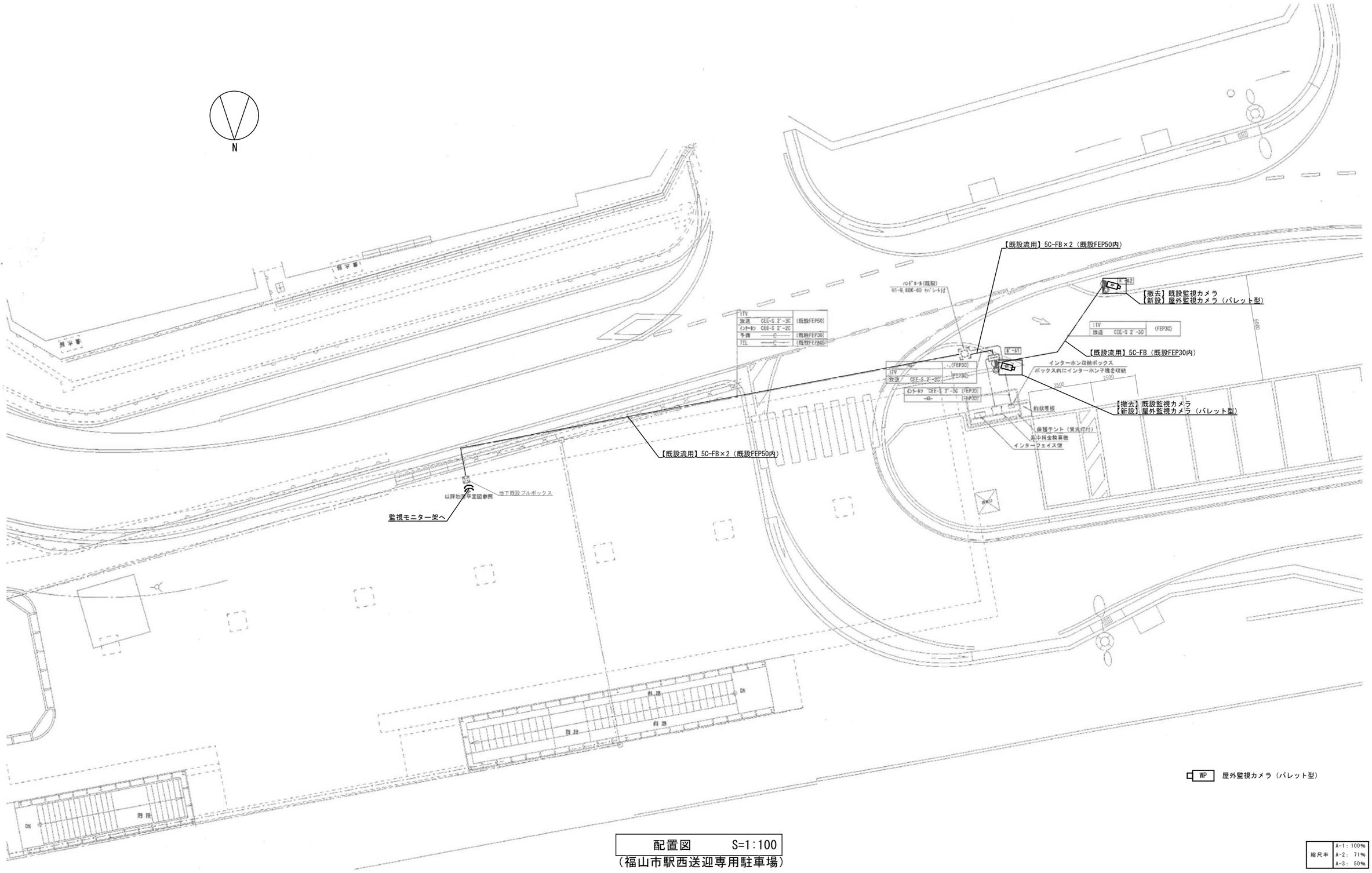
（福山駅南有料自転車駐車場）

屋内監視カメラ（バレット型）

WP 屋外監視カメラ（バレット型）

縮尺率	A-1：100%
	A-2： 71%
	A-3： 50%

工事名	福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事		福山市建設局建築部設備課						図面NO.
図面名称	地下階平面図・地上平面図（福山駅南有料自転車駐車場）	縮尺1:100	２０２６年１０月	主務	課員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長	E-03



配置図　　S=1:100

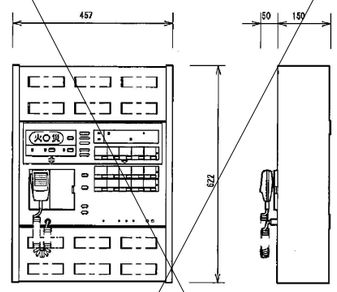
（福山市駅西送迎専用駐車場）

縮尺率	A-1：100%
	A-2：71%
	A-3：50%

工事名	福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事		福山市建設局建築部設備課							図面NO.
図面名称	地上階平面図（福山市駅西送迎専用駐車場） 縮尺1:100	2026年10月	主務	課長	第一担当次長	第二担当次長	設備課長	建築部長		E-04

AMP　壁掛型非常通常放送装置　（既設）

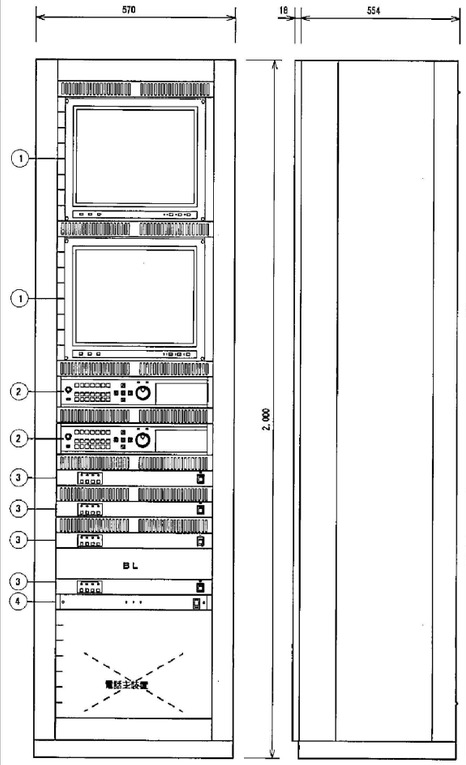
（本工事対象外）



※今回工事
既設放送装置予備回線へ接続、調整。

出力制御	10回線←→奇（非常・通常兼用）
定格出力	80 W
ブロック放送	最大5ブロック（通常放送兼用）
火災音信号	電子ブザー
音声警報	発報放送、火災放送、非火災放送
表　示	火災、出火階、作動表示、その他各種警報表示
出力整積付	ピーク/シグナル表示
モニタースピーカー	出力0.45 W、音量調節器、ハウリング防止回路付
ミチサー部	入力1/2、ライン、ユニットケース、アナウンス
	マイク、Bチャイム、アナウンスユニット、BGM
その他	ハンドマイク付
電　源	AC100 V、非焼時：DC24 V（ニカド蓄電池）

⊠　監視モニター架　（既設）

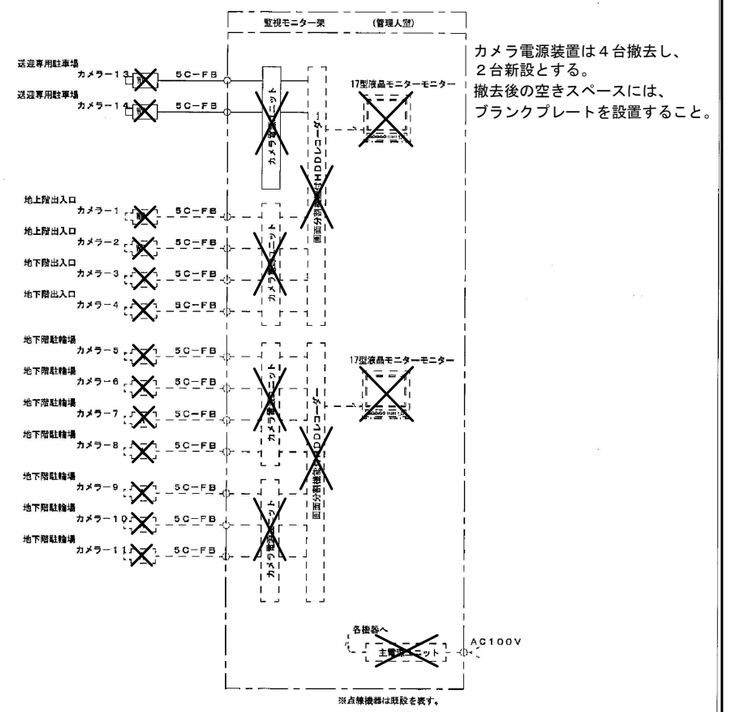


※①～④取替

①	17型液晶モニター	2台
	LCDパネル	17型、TFT
	解像度（画素数）	水平1280ピクセル×垂直1024ピクセル
	最大表示色	1670万色
	視 野 角	上：85度、下：85度、左：85度、右：85度
	入力端子	ビデオ：2系統　PC：1系統、REMOTE
②	画面分割機能付　ＨＤＤレコーダー	2台
	記録方式	映像：Wavelet圧縮方式
	内蔵ディスク容量	240 GB （120 GBx2）
	映像入出力	入力：9回路 出力：2回路
	音声入出力	入力：1回路　出力：1回路
	表示画面	2,4,6,7,9分割　（シーケンシャル表示）
	アラーム入力	9回路
	電子ズーム機能	有り
③	カメラ電源ユニット	既設－3台　新設－1台
	カメラ入力	4回路
	カメラ出力	各入力2回路
	ケーブル補償	3ポジション切換（最大500m）
④	主電源ユニット	1台
	AC100 V入力	20 Aサーキットブレーカー
	AC100 V出力	スイッチ連動×9（合計最大10 A×3）
		スイッチ非連動×3（合計最大15 A）
	その他	外部起動端子、自動遅延回路、非常遮断回路内臓

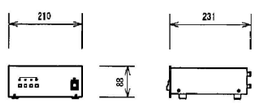
監視カメラ設備　システム系統図

✕　取替新設



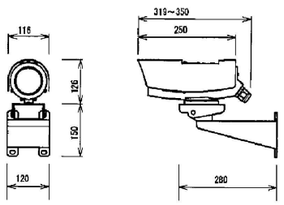
カメラ電源装置は４台撤去し、
２台新設とする。
撤去後の空きスペースには、
ブランクプレートを設置すること。

既設カメラ電源ユニット　4台



入　力	カメラ×4、外部同期
出　力	映像
その他	ケーブル補償、各カメラ毎に電源ON/OFF可
電　源	AC100 V、15 W
質　量	3.7 kg

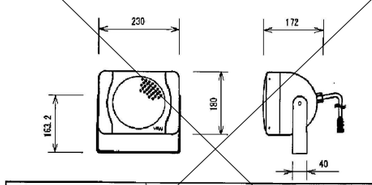
WP　既設カラーカメラ（屋外ハウジング一体型）　4台



撮像素子	1/3型インターライン転送方式CCD
同期方式	外部/内部同期（専用CCUより特殊同期信号）
解像度	480TV本
ダイナミックレンジ	50dB
最低被写体照度	カラー：1.3lx、白黒：0.05lx
レンズ	焦点距離：f=3～12mm
電　源	DC15 V～12 V（専用CCUより供給）
その他	壁取付金具付

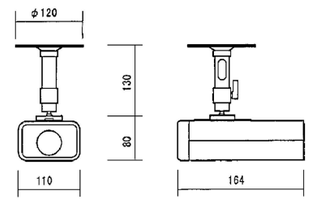
全天候型スピーカー　2台

（本工事対象外）



スピーカーユニット	防滴 14 cm フルレンジ型
定格入力	30 W (RMS)
出力音圧レベル	91 dB/W (1 m)
周波数特性	100 Hz～16 kHz、偏差-10 dB
入力インピーダンス	330 Ω (30 W)、1 kΩ (10 W)、2 kΩ (5 W)
防水保護等級	保護等級5、防噴流形
質　量	約2.5 kg
その他	スピーカーホルダー

⊠A　既設屋内固定カラーカメラ　（ハウジング付）９台



撮像素子	1/3型インターラインCCD
解像度	水平：536TV本
最低被写体照度	1.5 lx (F/1.2)
レンズ	変倍オートアイリス（f=3.5 mm～8 mm、F/1.4）
その他	屋内ハウジング・フィクサー付
電　源	DC15～21V　専用ＣＣＵから供給

工事名	福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事		福山市建設局建築部設備課						図面ＮＯ.
図面名称	既設機器姿図　　縮尺　－	２０２６年１０月	主務	課員	第一担当次長	第二担当次長	設備課長	建築部長	E-05

参考数量書

§工事名称　　福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事

§工事場所　　福山市三之丸町地内

特記事項

1　この数量書は，福山市建設工事請負契約約款１条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って，契約後の変更等を含意するものではありません。

2　数量の算出は次の基準によっています。

※「建築数量積算基準・同解説」　（建築工事建築数量積算研究会制定）

※「公共建築設備数量積算基準・同解説」　（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

設　計　書

工事名称　　福山駅南有料自転車駐車場他防犯カメラ改修工事

工事場所　　福山市三之丸町地内

【工事概要】
防犯カメラ設備工事　　～　一式
・地下階　９台（屋内）取替
・地上階　４台（屋外）取替
・モニター装置　１式　取替
　１７型液晶モニター　２台取替
　レコーダー　２台取替
　カメラ電源ユニット　４台撤去
　　２台新設
　主電源ユニット　１台取替

【別途工事】
・なし

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
直接工事費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
福山駅南有料自転車駐車場	1	式		
計				

福山駅南有料自転車駐車場

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
監視カメラ設備	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

福山駅南有料自転車駐車場

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
監視カメラ設備		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

福山駅南有料自転車駐車場　監視カメラ設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
機器		1	式			別紙 00-0014
撤去		1	式			別紙 00-0029
計						

福山駅南有料自転車駐車場　発生材処理

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬費		1	式			
発生材処分費	特定建設資材以外	1	式			
計						

福山駅南有料自転車駐車場　　監視カメラ設備

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
機器		1	式			別紙 00-0014
監視ｶﾒﾗ	屋外	4	台			
監視ｶﾒﾗ	屋内	9	台			
ﾓﾆﾀｰ	17型	2	台			
ﾚｺｰﾀﾞｰ		2	台			
ｶﾒﾗ電源装置		2	台			
主電源ﾕﾆｯﾄ		1	台			
計						
撤去		1	式			別紙 00-0029
既設ｶﾒﾗ　撤去	屋外 撤去　再利用しない	4	台			
既設ｶﾒﾗ　撤去	屋内 撤去　再利用しない	9	台			
既設ﾓﾆﾀｰ装置 撤去	撤去　再利用しない	2	台			
ﾚｺｰﾀﾞｰ　撤去		2	台			
ｶﾒﾗ電源装置 撤去		4	台			
主電源ﾕﾆｯﾄ　撤去		1	台			
計						